

2026年度（第30回） 理事長杯競技要項

【日時】2026年6月7日（日）予選

2026年6月14日（日）決勝

【競技方法】36ホールストロークプレー（アンダーハンデ競技）

第1日目18ホールを予選ラウンドとし、第2日目18ホールを決勝ラウンドとする。

決勝進出は予選ラウンド上位16位タイまでとする。

天候その他都合により、競技方法を変更することがある。

【順位決定】36ホール合計ネットにより順位決定する。競技成績にタイが生じた場合、次により順位を決定する。

競技規則 第2項(I)a②を適用。※「ローハンディ」・「年長者」の順で順位を決定する。

競技の条件

1. 競技規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とローカルルールおよび競技特別ローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

3. クラブと球の規格について

(a) 適合ドライバーヘッドリストを適用する。

プレーヤーが行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載しているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

例外：1999年より前に製造されたクラブヘッドを持つドライバーは、このローカルルールから免除される。

(b) 適合球リストを適用する。

ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていないと認められない。

このローカルルールに違反した球でストロークを行ったことに対する罰：失格

競技特別ローカルルール

1. 険悪な気象状況によるプレーの中断（規則 5.7）

危険な状況のためにプレーの中断、または通常の間断は「カートに搭載の無線」によって伝えられる。

どちらの場合も、プレー再開は「カートに搭載の無線」によって伝えられる。危険な状況の為にプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

2. ホールとホール間の練習禁止

競技者は最後にプレーしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない
球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。

(指定練習グリーンは除く)

この条件の最初の違反の罰は、一般の罰(2 罰打/プレーヤー最初のホールに適用)。

2 回目の違反の罰は失格。

3. 青杭または白線で標示してある区域はプレー禁止の修理地とする。

球がその区域内にある場合や、その区域がスタンスや意図するスイングの区域の妨げとなる場合には、規則
16.1f による救済を受けなければならない。**このローカルルールの違反の罰は、一般の罰(2 罰打)。**

4. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

5. 7番、14番、17 番ホールの**第1打目**において、ペナルティーエリアにボールが入った場合、
1打付加してドロップ区域にドロップすることができる、〈任意〉

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更がある場合は、「マスター室」及び「スターティングホールの
ティーイングエリア付近」に掲示して告示する。
2. 競技参加者は競技(スタート時刻)30分前までにフロントにてチェックインを済ませ、且つ、スタート時刻までに
スターティングエリアに到着していること。これに違反した場合、ペナルティーを課すことがある。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に(1ホール以上)あけないよう注意のこと。
且つ、ハーフ2時間 15 分を目安にプレーを心掛けること。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティーを
課すことがある。
4. スタート前の練習は打ち放し練習場にておいて、備付けの球を使用し、**1人1コイン(25球)**を限度とする。
ハーフでの練習は指定練習場(パター)のみとする。
5. ティーマークは **コンペティションティ** とする。
6. コース内は携帯電話の使用を禁止する。(距離測定 高低差のアプリ等の使用不可)
7. バッグの口径は 9.5 インチ、重量は 13 キロを超えないこと。
8. 競技委員会は競技中も含めていつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加を取り消すことが
できる。

以上